



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報
平成 30 年第 7 週 (2/12~2/18) 【概要版】
 平成 30(2018)年 2 月 22 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

インフルエンザの警報が発令されています。また、学校等欠席者感染症システムにおいては、A 型と B 型の双方のインフルエンザによる欠席が多く登録されています。両型のインフルエンザが同時に流行していますので、流行期間中の継続的な手洗い・咳エチケット等を心掛けてください。

- (1) 報告数が多かった疾患は、インフルエンザ、感染性胃腸炎と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎です。
- (2) インフルエンザは、高島以外の 6 か所の保健所管内で先週と比べて減少しました。

2. 報告数が多かった小児科定点把握疾患(五類感染症) (i)

(1) 滋賀県

警報は「終息基準値(インフルエンザは「定点当たり報告数;10」)」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の 30%未満になった時点で警報を解除します。

疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
インフルエンザ	44.23	45.81	34.19	警	○		警	警	警	警	注	警	警
感染性胃腸炎	3.10	2.66	2.41				多		↑		↑	多	↑
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.39	1.19	1.19				多			多		多	多

(2) 前週の全国および近隣府県の状況(下線; 滋賀県よりも多い)

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
インフルエンザ	45.38	45.81	36.78	42.67	29.97	32.15	44.36
感染性胃腸炎	<u>4.72</u>	2.66	<u>4.75</u>	<u>4.19</u>	<u>4.18</u>	<u>3.17</u>	<u>5.13</u>
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<u>2.63</u>	1.19	<u>1.88</u>	<u>1.49</u>	<u>2.36</u>	<u>1.38</u>	<u>1.62</u>



3. 全数把握疾患(滋賀県、今週診断例)

類型	疾病名	滋賀県					保健所別						
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	7	5	2			1	1					

- i. 定点把握疾患: 人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握
- ii. 警; 警報発令、注; 注意報発令
- iii. 今週の値が過去 5 年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値 + 2 × 標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)
- iv. 「警; 警報開始基準値を超過」、「注; 注意報基準値を超過」、「多: 今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑: 前週比増加」(「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記)

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

平成 30 年第 7 週 (2/12~2/18) 【詳細版】

平成 30(2018)年 2 月 22 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント(概要版より再掲)

インフルエンザの警報が発令されています。また、学校等欠席者感染症システムにおいては、A 型と B 型の双方のインフルエンザによる欠席が多く登録されています。両型のインフルエンザが同時に流行していますので、流行期間中の継続的な手洗い・咳エチケット等を心掛けてください。

- (1) 報告数が多かった疾患は、インフルエンザ、感染性胃腸炎と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎です。
- (2) インフルエンザは、高島以外の 6 か所の保健所管内で先週と比べて減少しました。

2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週の値) i, ii, iii, iv

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県			保健所別 (iv)										全国 (前週) (iv)	基準値		
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大 津 市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根	長 浜	高 島		警報 開始	警報 終息	注意報
インフルエンザ (定点数:53)	インフルエンザ	44.23	45.81	34.19	警	○		58.82	20.20	41.29	33.50	12.14	23.29	52.67	45.38	30	10	10
	RSウイルス感染症	0.19	0.31	0.28		○		0.14	0	1.00	0.80	0	0	0	0.40	-	-	-
	咽頭結膜熱	0.19	0.13	0.19		○		0.14	0.33	0	0.40	0	0	0.50	0.28	3	1	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.39	1.19	1.19				1.71	0.17	0.25	1.20	0.75	1.25	5.00	2.63	8	4	-
	感染性胃腸炎	3.10	2.66	2.41				4.43	1.17	1.75	1.60	2.25	3.25	1.00	4.72	20	12	-
	水痘	0.32	0.22	0.16				0.14	0	0.25	0	0	0.75	0	0.23	7	4	4
	手足口病	0.10	0.03	0.06				0.14	0	0.25	0	0	0	0	0.15	5	2	-
小児科 (定点数:32)	伝染性紅斑	0.06	0.03	0.03				0	0	0	0	0	0	0.50	0.06	2	1	-
	突発性発しん	0.23	0.41	0.34		○		0.43	0.33	0.25	0.40	0	0.25	1.00	0.30	-	-	-
	ヘルパンギーナ	0.03	0	0.03		○		0	0	0	0	0	0	0.50	0.02	6	2	-
	流行性耳下腺炎	0.10	0.22	0.22		○		0	0	0	0	1.00	0.75	0	0.14	6	2	3
	眼科 (定点数:8)	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	-
		流行性角結膜炎	0	0.38	0				0	0	0	0	0	0	0.59	8	4	-
	基幹 (定点数:7)	細菌性髄膜炎	0.14	0	0				0	0	0	0	0	0	0.02	-	-	-
無菌性髄膜炎		0	0	0.14		○		0	1.00	0	0	0	0	0.03	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.18	-	-	-	
クラミジア肺炎(オウム病)		0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.00	-	-	-	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)		0.14	0	0				0	0	0	0	0	0	0.12	-	-	-	
インフルエンザ (入院例に限る)		3.43	5.57	4.86		○	○	4.00	0	4.00	0	0	11.00	15.00	3.78	-	-	-

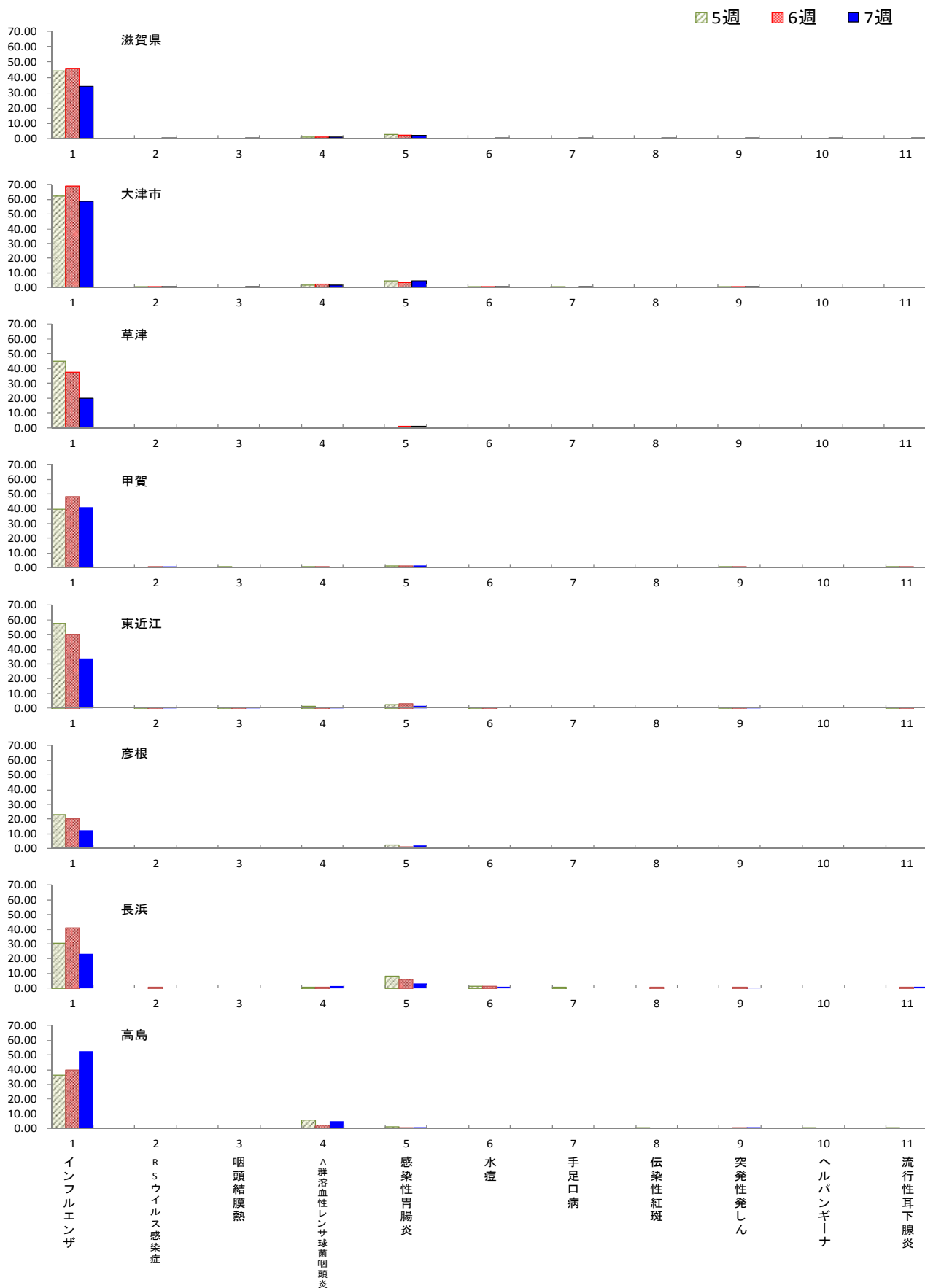
i 定点把握疾患: 人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の 30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。

iii 今週の値が過去 5 年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)

iv 赤字斜字: 警報開始基準値を超過、紫字斜字: 注意報基準値を超過

3. 定点把握疾患(五類感染症)の保健所別推移(滋賀県、今週と過去 2 週)



4. 定点把握疾患(五類感染症)の年齢階級別報告数 (滋賀県、今週)

インフルエンザ定点 (53医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	1812	3	20	55	54	72	95	110	111	103	82	94	289	86	80	134	127	86	66	52	93
大津市保健所	647	2	4	16	17	23	29	25	31	28	29	32	100	43	35	59	74	37	23	20	20
草津保健所	202	-	2	4	10	8	7	18	13	15	4	6	33	12	11	15	19	6	6	3	10
甲賀保健所	289	-	5	12	11	15	17	16	13	14	12	15	53	13	18	20	10	14	14	5	12
東近江保健所	268	-	6	19	9	14	24	25	26	16	11	24	57	3	2	9	4	4	2	4	9
彦根保健所	85	1	1	-	-	2	1	11	4	5	4	3	11	4	2	12	4	9	3	4	4
長浜保健所	163	-	-	3	5	7	9	9	13	9	14	10	20	6	8	10	8	11	11	4	6
高島保健所	158	-	2	1	2	3	8	6	11	16	8	4	15	5	4	9	8	5	7	12	32

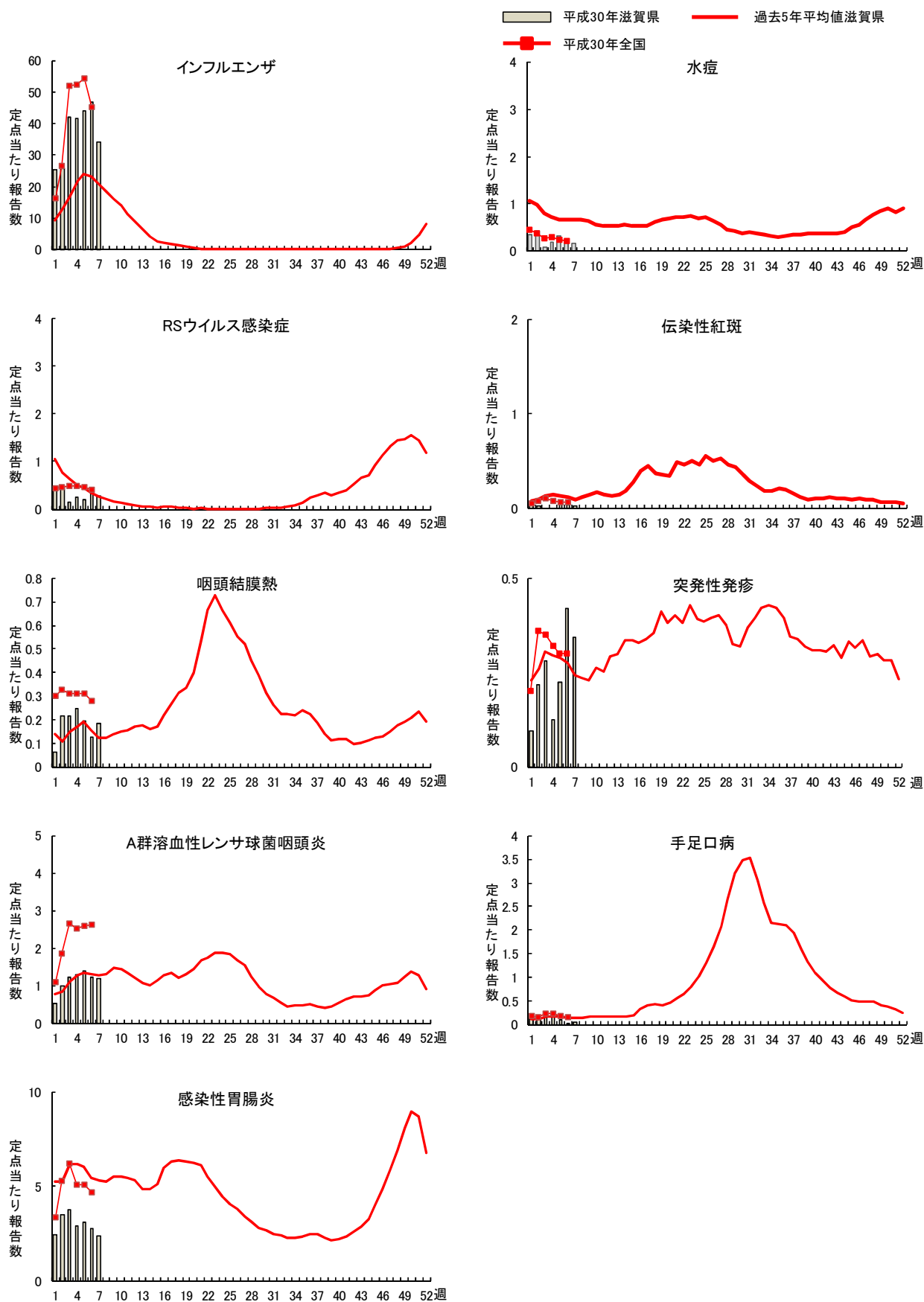
小児科定点 (32医療機関)	総数	0～5ヶ月	3～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	9	4	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	6	-	1	1	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	38	-	-	2	2	1	4	6	7	3	5	2	2	-	4
感染性胃腸炎	77	2	2	9	4	9	8	10	7	6	1	2	6	3	8
水痘	5	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	1	-	-	-
手足口病	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	11	1	3	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	7	-	-	-	1	2	1	-	1	-	2	-	-	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

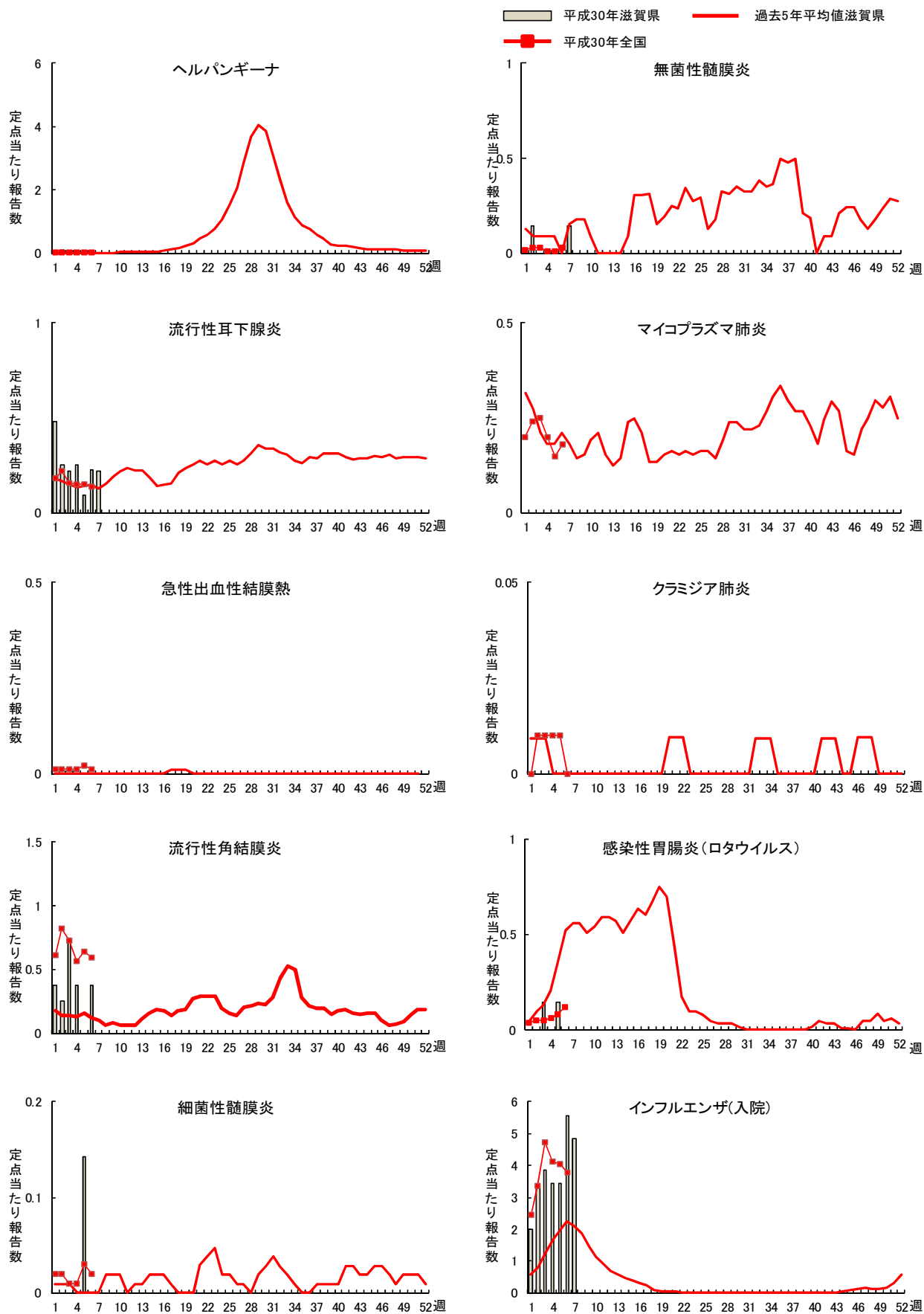
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」: 報告なし

5-1. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



5-2. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



6. 全数把握疾患 詳細情報(今週報告例) [▽]

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	07	大津市	70歳代	女	結核性胸膜炎	国内	-
	結核	07	草津	20歳代	男	肺結核	国内	-
	結核	06	長浜	10歳未満	男	無症状病原体保有者	国内	-

注目すべき感染症

■ インフルエンザ

- (1) インフルエンザの警報の発令について(滋賀県健康医療福祉部薬務感染症対策課)
<http://www.pref.shiga.lg.jp/hodo/e-shinbun/eh00/20180111.html>
- (2) 平成 29 年今冬のインフルエンザ総合対策(厚生労働省)
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>
- (3) インフルエンザウイルス分離・検出速報 2017/18 シーズン(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>
- (4) 抗インフルエンザ薬耐性株サーベイランス 2018 年 02 月 16 日(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/influ-resist.html>

■ 感染性胃腸炎

- (1) 感染性胃腸炎(特にノロウイルス)について(厚生労働省)
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/norovirus/>
- (2) ノロウイルス等検出速報 2018 年 02 月 4 日(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>

- Health Advice for Travellers to the 2018 Olympic and Paralympic Winter Games in the Republic of Korea(平成 30 年 2 月 7 日、The World Health Organization Regional Office for the Western Pacific) 平昌オリンピック・パラリンピックにかかる健康上のアドバイスが掲載されています。
<http://www.wpro.who.int/mediacentre/20180207/en/>

[▽] 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別(平成 30 年、全国は前週までの値) ^{vi,vii}

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核			25 1.77	8 2.34	8 2.36	1 0.69	3 1.31	2 1.28	3 1.94	0 0.00	2036 1.61	251 17.76	22806 17.97
三類 細菌性赤痢			0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	141
腸管出血性大腸菌感染症			1 0.07	0	0	0	1 0.44	0	0	0	58 0.05	41 2.90	3890 3.06
四類 E型肝炎	○	○	1 0.07	0	0	0	1 0.44	0	0	0	29 0.02	0	303 0.24
四類 A型肝炎			0	0	0	0	0	0	0	0	37	5	282
重症熱性 血小板減少症候群			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90
チクングニア熱			0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5
つつが虫病			0	0	0	0	0	0	0	0	33	1	439
デング熱			0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	245
日本紅斑熱			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	337
レジオネラ症			1 0.07	0	0	0	0	1 0.64	0	0	125 0.10	20 1.42	1722 1.36
五類 アメーバ赤痢			0	0	0	0	0	0	0	0	74	8	1077
ウイルス性肝炎			0	0	0	0	0	0	0	0	23	4	289
カルバペネム耐性 腸内細菌感染症	○		1 0.07	0	0	0	1 0.44	0	0	0	164 0.13	13 0.92	1634 1.29
急性脳炎			1 0.07	0	1 0.29	0	0	0	0	0	159 0.13	4 0.28	688 0.54
クロイツフェルト・ヤコブ病	○	○	2 0.14	1 0.29	0	0	0	0	1 0.65	0	21 0.02	2 0.14	198 0.16
劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	○		1 0.07	1 0.29	0	0	0	0	0	0	108 0.09	15 1.06	573 0.45
後天性免疫不全症候群			0	0	0	0	0	0	0	0	120	10	1374
ジアルジア症			0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	60
侵襲性 インフルエンザ菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	58	3	370
侵襲性肺炎球菌感染症	○		6 0.42	4 1.17	0	0	1 0.44	1 0.64	0	0	537 0.42	47 3.33	3145 2.48
水痘(入院例)			0	0	0	0	0	0	0	0	37	4	309
梅毒	○		1 0.07	0	1 0.29	0	0	0	0	0	564 0.44	28 1.98	5770 4.55
播種性クリプトコックス症			0	0	0	0	0	0	0	0	14	2	134
破傷風			0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	124
百日咳	-	-	7 0.50	7 2.05	0	0	0	0	0	0	292 0.23	-	-
風しん			0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	93
麻しん			0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	189
薬剤耐性 アシネトバクター感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	28
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0.02

^{vi} 今年第 1 週以降に診断された感染症の累計報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に今年の「累積報告数」、下段に「人口 10 万人当たりの累積報告数」を記しています。

^{vii} 今年と過去 5 年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)概況(滋賀県、今週

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム (https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php) へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。

インフルエンザによる欠席者は 4278 人(A 型; 619 人、B 型; 2787 人)登録されています。

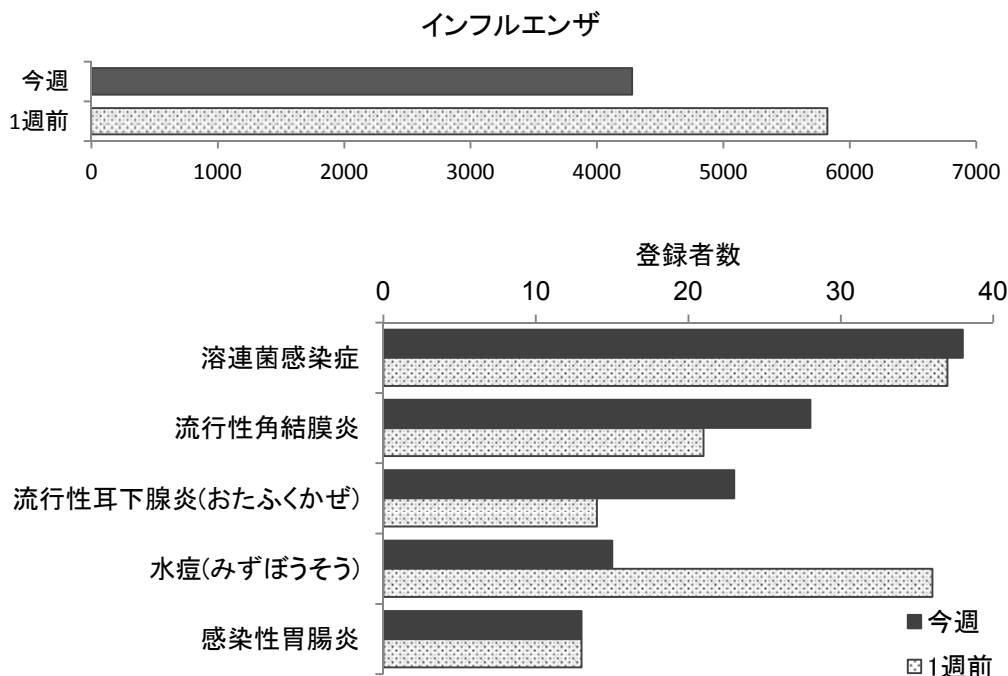


図. 学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)において登録数の多い疾患
横軸:登録数

【全国情報】 国立感染症研究所 感染症疫学センターHP に掲載されています。

- 感染症発生動向調査 週報(IDWR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>
- 病原微生物検出情報(IASR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>
- インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

【届出対象疾患】 厚生労働省 HP に掲載されています。

- 感染症法に基づく医師の届出のお願い
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP
<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/ef45/kansen-c/index.html>



イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」

インフルエンザの発生動向 平成30年7週 滋賀県

